

平成 26 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		事業コード 080301		介護予防事業		担当 部課	部課コード	080300	TEL	2991-1813				
開始年度		平成 18 年度		→			終了年度		平成 年度					
健康づくり支援課		グループ		健康づくり第2G										
②事業の概要	事業の種別	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加		根拠法令										
	分野別計画・指針	高齢者福祉計画、健康日本21所沢市計画		介護保険法										
	関連・類似事業	健康教育事業、健康相談事業、機能訓練事業、訪問指導事業、成人歯科健康教育・相談事業												
	総合計画の体系	章	健康・福祉	節	社会保障	基本方針	介護保険制度の充実を図ります。							
事業開始の背景	平成18年度の介護保険法の改正に伴い、従来、65歳以上の高齢者を対象に老人保健事業として実施してきた健康教育、健康相談、機能訓練、訪問指導の4事業については、地域支援事業の介護予防事業に位置付けて実施することとなった。													
③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)													
	高齢者が健康で生き生きと、地域で自立した生活を継続できるよう、脳血管疾患等の後遺症による閉じこもり予防(機能訓練事業)、栄養状態の改善・健康の維持向上(高齢者栄養教室)、健全な口腔機能と良好な口腔衛生状態を保つ(高齢者歯科健康講座)ことを目的としている。													
	対象(誰を、何を対象としているのか)													
	主に65歳以上の高齢者													
事業の具体的な内容及び実施方法														
【機能訓練事業】 各月1回実施 ●地域リハビリ交流会…当事者・家族・ボランティア・地域住民が、リハビリ体操や月毎のプログラムを通して交流(まちづくりセンター4か所)。 ●失語症者のつどい…言語聴覚士のリードで、当事者とボランティアがコミュニケーションを中心に交流(保健センター)。 【高齢者栄養健康教室】 ①優しい健康食教室(保健センター)…講話・調理実習・食事相談 ②すこやか料理教室(老人福祉センター・憩いの家)…講話・調理実習・食事相談 ③男性料理教室(保健センター)…調理初心者の男性が対象。講話・調理実習 【高齢者歯科健康講座】 元気歯つらつ教室(保健センター・2日間1コース年間2回)…講話・健口体操・歯みがき実習・歯科相談 ※老人福祉センター利用者を対象にした講話・健康相談、地域包括支援センターや高齢者施設の依頼を受けて健康教育等も随時、実施。														
④経費	＜会計種別＞		特別会計		平成 24 年度 (千円)		平成 25 年度 (千円)		平成 26 年度 (千円)					
	当初予算				9,347		9,153		9,172					
	決算(見込み含む)				8,272		7,798							
	(非常勤特別職員) (臨時任用職員)		(0.00 人) (2.00 人)		(0.00 人) (2.00 人)									
	正規職員人件費		1.39 人 12,318		2.20 人 19,554				平成26年度のみ、当初予算の内訳となっています。					
	事業費合計		20,590		27,352									
財源内訳		一般財源		17,060		23,963								
		国・県支出金		3,102		2,924								
		その他()		428		465								
⑤実績	項目名		項目説明		単位		H 24		H 25		H26見込み		将来目標	
	機能訓練 地域リハビリ交流会 失語症のつどい		延べ参加者数(本人)		人		880		1,013		1,010		1,100	
	高齢者歯科健康講座等		延べ参加者数(本人)		人		644		891		800		850	
	高齢者栄養教室等		延べ参加者数(本人)		人		1,118		1,352		1,300		1,400	
⑥成果	項目名		項目説明		単位		H 24		H 25		H26目標値		将来目標	
	成果指標		事業への参加者増加率		%		目標値 110		110		110		110	
	実績		100		107		107		107		107		107	
目標達成状況		どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%		達成率		91		97		↑どちらかをチェックしてください		
⑦改善点	平成25年度中に改善した点(どのように改善したか、それにより何がどうなったかを具体的に記載してください)													
	栄養教育及び歯科教育への参加者拡大のため、地域包括センターや高齢者施設などからの教育依頼を積極的に受け入れるよう努めた。また地域リハビリ交流会では、当事者に対し再発予防および家族・ボランティアに対し介護予防含む健康づくりに関するアプローチを実施。家族・ボランティア・地域住民との協働目的を強化しながら、効率的な事業の実施方法について検討を行った。失語症者のつどいでは、メンバーとボランティアがペアでコミュニケーションを図る通常のつどいだけでなく、ゲームを取り入れたプログラムも実施し、メンバーの新たな一面が見え非常に好評であった。また言語聴覚士との話し合いの時間を設け、失語症に関するボランティアへの学習会の検討やつどい全体について共有。メンバー・ボランティア・家族、それぞれの立場でつどいを楽しみ、良き交流の場となるよう関わってきた。													
⑧評価	評価		事業実施方法(複数選択可)		理由									
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他		理由		高齢者が少しでも要介護状態に至らないためにも、本事業の必要性は高いが、事業の実施方法については、高齢者が身近で参加しやすく、理解しやすいように常に改善・効率化を図っていく必要がある。							
⑨評価	次年度予算		<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持		理由		高齢者人口が増加していく中で、高齢者が少しでも要介護状態に至らないためにも、本事業の必要性が高くなるため。							
	今年度の状況と今後の方向性													
介護保険制度の充実に伴い、一般的に機能訓練を受ける機会が広がりを見せるなかで本事業の目的や位置づけ・方針等を明確化させていく必要がある。また、今後、高齢化がさらに進むことが予想されるため、高齢者支援課・地域包括支援センターなどの関係機関と、より一層の連携を図りながら、栄養及び歯科分野などでの介護予防事業について、高齢者が要介護状態に至らないような支援を強化させていく必要がある。														
評価日		評価者職氏名 健康づくり支援課 課長 岸 健次												
⑩環境影響	有益な環境影響				有害な環境影響を及ぼす原因活動		文書の作成		規制を受ける環境法令等		無		無	
									緊急事態		無		無	